

会 議 名	平成24年度第3回港区3R推進行動会議
開 催 日 時	平成24年11月6日（火）午前10時から12時まで
開 催 場 所	エコプラザ3階会議室A
委 員	（出席者）崎田座長、内藤裕子委員、木原委員、榊中委員、藤野委員、小林委員、鈴木委員、亀田委員、長谷川委員 （欠席者）森委員、桜林委員、島村委員、内藤俊之委員、荒川委員、武田委員
事 務 局	日山、高島、北川
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	区挨拶 1. 報告事項 2. 今後の展開 3. その他
配 付 資 料	1. 冷凍した野菜でらくらくエコ料理教室開催報告 2. みんなで生ごみ減量大作戦！チャレンジ！ベランダで堆肥化&野菜づくり！！第2回報告会 実施結果 3. 「集まる！広がる！3R 区役所ロビーパネル展示会」開催報告 4. みなと区民まつりブース出展及びリユース食器導入プロジェクト実施報告 5. 港区3R推進行動計画 6. 事業者のための紙ごみリサイクルセミナー企画案

## 主な発言・報告内容

### 1 報告事項

#### ●事務局からの説明

例年支援を行っている芝浦運河まつりは雨天のため中止となった。リユース食器は、平皿1000枚、小鉢300枚を使用していただく予定であった。

#### 冷凍した野菜でらくらくエコ料理教室について

#### ●事務局からの説明

港区における生ごみの発生量や減量に向けた取り組み等を説明した後、冷凍野菜の作り方と冷凍野菜を上手に活用した調理実習を基礎編・応用編の2回開催した。

#### ●主な発言

- ・ 参加者数について、応用編が減っている。基礎編に参加したが、応用編に参加しなかった人が多い。基礎編の際に、応用編の内容がわかっていたらよかったと思う。
- ・ 講座の組み立て方を今後は工夫する必要がある。
- ・ 料理になれている委員や参加者が運営を手伝えたらよい。
- ・ 段ボールコンポストのように、参加者を育てていくことで、次につなげられるような動きがあればよい。
- ・ 区の講座に参加すると3Rサポーターになってもらうようにできればよい。
- ・ 講座の参加者に3Rサポーターへの登録を積極的に呼びかけられれば良い。
- ・ メニューについて、若い人が参加してくれるようなものを選ぶとよい。

#### みんなで生ごみ減量大作戦第2回報告会について

#### ●事務局からの説明

8月から9月の約2ヶ月間、受講生が家庭で取り組んだ段ボールコンポストの記録を紹介した。受講生同士で体験談を話し合う等して情報を交換した。さらに、段ボールコンポストでできた堆肥の使い方など、今後も継続していくためのポイントを学んだ。

#### ●主な発言

- ・ これまでの講座への受講生の中で、段ボールコンポストに継続的に取り組んでいる人はどの程度いるのか。
- ・ 現状では把握できていない。今後、過去の段ボールコンポスト講座受講生が集まる場を設けて、その場で継続状況を把握したい。
- ・ アドバイザーは一本釣りで依頼しているが、過去の受講者全員に聞ければよかった。ア

ドバイザーの中の有志で、今後段ボールコンポストの取組みを広げられるよう連携していくことを確認した。

- ・ 3月のフォーラムで過去の受講生と連絡を取り合い、状況確認しながらゆるやかなつながりができればよい。
- ・ 数人のグループだけでなく、区内の支所地域別にグループを設け、取組みが広がっていけばよい。
- ・ フェイスブックやツイッターを活用することで、過去の受講生とつながりやすくなるのではないか。
- ・ ツイッターはあるが年齢層の面からなかなか広がっていない。参加者のうち、PC操作が得意な方は自身のブログで紹介している。
- ・ 講座で野菜作りの講師を務めたたなかやすこ氏も段ボールコンポストに取り組み始めており、野菜づくりと段ボールコンポストを網羅した本ができるとういという話はしている。
- ・ 3Rも環境の視点から捉え社会に問題提起ができるとよい。イベントを実施する時は主旨を参加者に理解して頂き、生活に活かしていける方法を提案できるとよい。
- ・ どのような趣旨でイベントを開催しているのかをしっかりと伝え、そのことがどれだけ伝わったのかを把握し、イベント開催後はきめ細やかな分析を行い、周知については委員が手伝いができればよい。
- ・

#### 区役所ロビーパネル展示会について

##### ●事務局からの説明

区内でごみの減量に積極的に取り組んでいる団体の取組みを紹介し、より多くの人に3Rの大切さを知っていただくために区役所のロビーで5日間パネル展示会を開催した。

#### みなと区民まつりブース出展及びリユース食器導入プロジェクトについて

##### ●事務局からの説明

みなと区民まつりで港区3R推進行動会議がブース出展を行った。ブースでは、子どもを対象に3Rクイズを出題し、正解した来場者には風船釣りの行っていただいた。また、来場者の方に「家庭で取り組んでいる3R」をボードに記入いただき、リユース・エコルのパネルと一緒に記念撮影を行った。撮影後、3Rサポーターの募集を行った。

また、都立芝公園エリアで一般の出展団体にリユース食器を使用していただいた。当日は大学生のチームが出展団体のリユース食器の運用を手伝い、来場者等に対しアンケートを行った。

##### ●主な発言

- ・ アンケートで「遊びに来ているのにやらされている感がある」とあるが、実施する側と

受け手の側で温度差があるように感じる。プロの出店者は自分のお店では使い捨ての食器は使わない。発想をかえて、リユース食器の利用が当たり前という形でアプローチする必要がある。

- ・ 説明会で説明を受け、わかりやすかったが、具体的にどのように使えばよいかわからないので使いづらかった。興味のある団体に説明会后に残ってもらい、丁寧な説明を行ったり、実際に食器に触れられる機会を設けてはどうか。
- ・ 提供者側の「使っていただく」、消費者側の「使うのが面倒」という考え方ではなく、提供者も消費者もみんなでチャレンジするという形にできればよい。
- ・ 半強制的に全部リユース食器にできればよい。
- ・ 使い捨て食器であればごみ処理経費が発生するが、無料で貸し出している区のリユース食器を使用すれば処理代がかからない。このことは出店者側にとってはメリットとなる。本来はごみとして出すよりは少ない料金でリユース食器を貸し出しするようにできればよい。

### 港区 3 R 推進行動計画について

#### ●事務局からの説明

前回の 3 R 推進行動会議において、サポーターの位置づけの明記、事業者の扱い、事業者向けセミナーとイベントの統合についてのご意見をいただいたので、修正した。親しみやすい行動計画とすることを目的に、表紙・裏表紙に港区リユースキャラクター「リユース助」や港区リサイクルキャラクター「エコル」のイラストも使っている。

#### ●主な発言

- ・ 区内には大企業の事業所が多く、結果として事業系ごみが多く出るという区の現状がわかればよい。
- ・ 事業者と一般家庭が分けて整理されている印象を受ける。事業系のごみが多く発生しているので、事業者と一緒に区民が何ができるかを一緒に考えられればよい。
- ・ 地域として面でとらえれば、事業者と地域の連携は必要であるが、ごみの排出の成り立ちは異なるため、それぞれ違うアプローチで 3 R を普及・啓発することが効果的である。面での取り組みは違う視点で取り組む必要がある。また、区の現状は港区一般廃棄物処理基本計画にまとめられている。
- ・ 事業者でも、自身の事業活動から出るごみと、生産活動の結果消費者から出るごみがある。「協働の促進」が書かれているので、プロジェクトの企画の際にそのようなことに留意できればよい。
- ・ エコプラザが区内事業者の環境活動の情報拠点となればよい。
- ・ 「事業者」と「事業所」の表現を使い分けた方がよい。

## 2 今後の展開

### 事業者向けセミナーの実施について

#### ●事務局からの説明

中小の事業者を対象とした紙ごみ減量のセミナーを開催する。多くの企業が参加できるセミナーとする。

#### ●主な発言

- ・ 開催時間について、紙ごみはオフィス系なので、午後の時間帯に開催する方がよい。
- ・ 紙の種類が多くなっている。禁忌品と呼ばれる紙類もあるので、そのことを知りたい。
- ・ どのように分別するかをしっかりと説明してもらい、その中で混入すると困るものを伝えてもらえばよい。
- ・ 紙ごみのリサイクルは事業者がごみの有料シールを貼って排出するよりも安いのであれば、そのことをチラシで明示できればよい。
- ・ チラシに回収品目が書き込まれていた方が事業者としてはわかりやすいのではないか。
- ・ 事業者の規模によって、どの程度のコスト削減になるのかを示せればよいのではないか。

## 3 その他

#### ●連絡事項

- ・ 例年3月に開催している3Rフォーラムについて、今年度は2月に開催予定である。このことについて考える企画会議を12月に開催する。